

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：大崎上島町

1 要旨

大崎上島町の森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、大崎上島町の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に第3期の推進方針を定め、これに基づいて森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	・里山林について、手入れ不足により竹林が繁茂し、景観が悪化しているところが多く見受けられる問題となっている。	・以前は、地元住民により管理されていたが過疎化、高齢化による担い手不足により放置されており、景観の悪化が生じているため、景観改善のための里山林整備が課題となっている。	・竹林繁茂により悪化した景観を森林整備によって、地域にとって好ましい景観が形成される。	・景観悪化が顕著な地域において、竹林の伐採や景観を損ねている樹木の除間伐を行う。
防災・減災林（特認含む）	・人家の上流の山林で、手入れ不足により土砂崩れの危険性のある山林が増加している。	・手入れ不足により災害が起こるおそれのある山林が増えていることから、災害に強い森林づくりが課題となっている。	・災害の危険性のある里山林において地域共同で間伐や植樹を行い、保水力を強めた、土砂崩れしにくい山林とする	・地域共同で、間伐や植栽を実施するとともに管理する歩道や森林作業道を施工する。
地域資源活用林（特認含む）	・景観に優れた神峰山やその他山林の展望台など管理が行き届かないため眺望が悪くなっている。	・里山林の荒廃により、森林浴やレクリエーションの場としての機能が低下しており、里山林の再生が課題となっている。	・瀬戸内海を望む優れた景観を維持し、観光客や地元の人々の憩いの場所となる森林を目指す。	・地域の資源として利用頻度の高い登山道や山頂展望台など周辺の眺望を維持すべく除間伐を行う。
環境緑化保全林	・森づくり事業推進協議会、みどり推進などボランティア団体により植樹が行われているが、地域住民への広がりが少ない。	・ボランティア団体の後継者やその他住民の参加が不足している。また植樹後の適正な維持管理が必要であり、地域住民の緑化に対する意識醸成が課題となっている。	・地域共同による、公共施設等への植栽を実施し、生活環境の緑化を促進するとともに、適正に維持管理される。	・地域共同で公共施設等への植栽を取組み、継続的に実施箇所の維持管理を行う。
鳥獣被害防止林	・イノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げ、鳥獣被害が拡大している。	・イノシシなどによる鳥獣被害が拡大しているため、野生動物との共生を目指した里山林整備が課題となっている。	・イノシシなどの野生動物が人里近くまで活動域を広げつつあることから、生物多様性の保全や野生生物との棲み分けがされるなど、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し、野生動物との共生を目指す。	・鳥獣被害が著しい地域において、バッファゾーンとしての森林整備とその他の対策を一体的に取り組むとともに、持続した管理が見込まれる地域から重点的に実施する。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
<p>森林を守り育てる体制</p>	<p>森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等)</p> <p>森林整備を助ける体制 (森林資源の継続的利用)</p>	<p>・森づくり事業を活用するボランティア団体は財務基盤等が脆弱であるため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。 【森林ボランティア団体数:4団体】</p> <p>・平成27年度に購入したウッドチップパー機を、地域住民に無償で貸し出し、竹林繁茂を防止する取り組みを行っているが、2t車での現場への搬送が課題となっている</p>	<p>・町内域をカバーできる程度のボランティア団体が存在し、自らの収入と会費で運営されながら、森づくり事業を活用し森林保全活動を展開することにより、地域の活性化に寄与している。</p> <p>・活動への参加者が増加するとともに、実行委員会又は地元自治会等の主導による里山林整備活動が展開される。</p> <p>・新たな森の守り手について、町内在住者を中心に模索し、支援にあたっては守り手にあった支援となるよう県と連携しながら進める。</p>
<p>取組への理解促進</p>	<p>住民への説明</p> <p>参加拡大による理解促進</p> <p>事業の理解</p>	<p>・ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか周知できていない。 ・町民が森林整備などの体験と学習をする機会の情報発信力が乏しい。 【事業実施の広報看板設置:1箇所】</p>	<p>・町民が森づくり県民税の用途や効果、実績を理解している。 ・町民が欲している、森林・林業に関するイベントや活動などの情報がタイムリーに入手できる。</p> <p>・県と連携し、町広報誌やホームページを活用し事業の実績や効果を町民に広く発信する。 ・区長会や地区懇談会などを通じて事業内容や実績を提供する。 ・事業実施箇所については、森づくり事業で整備した旨の看板等を設置する。 ・「ひろしま山の日県民の集い」を開催し、多くの町民の参加を得ながら、森づくり事業の周知を図るとともに、住民が参画する森づくりを誘導する。 【事業実施の広報看板設置:5箇所】</p>